



震災における感染症対策

避難所等での集団生活では、風邪やインフルエンザ等の呼吸器感染症や、下痢等の消化器感染症が流行しやすくなります。避難所生活が長期に及ぶにあたり、感染症から身を守るための対策がより一層大切になります。避難所生活をされている方だけでなく、避難所に入出入りされる方も、手洗い・うがいをこまめに行い、感染を広げないようにしましょう。

【呼吸器感染症の予防】

発熱・せきなどの症状がある方は、避難所内に風邪やインフルエンザを流行させないために、軽い症状であっても、マスクの着用を含む咳エチケットを心がけましょう。高齢者や基礎疾患のある方が感染した場合は、重症化するおそれがありますので、早めに受診するようにしましょう。



【ノロウイルス対策】

患者の汚物処理は、その都度適切に行うことが大切です。感染の拡大を防ぐために、おむつ交換や吐ぶつを片付ける際は、直接それらに手を触れないようにし、手袋をしていても必ず手を洗いましょう。

【粉じん・傷口からの感染対策】

家屋の清掃やがれき撤去の際には、長袖・長ズボンなどを着用し、丈夫な手袋をしたり、厚底の靴を履くなどしてケガを防ぎましょう。ケガをした場合には、そこから破傷風に感染するおそれがあります。土などで汚れた傷を放置せず、医療機関で適切な治療を受けるようにしましょう。また、汚泥から生じるレジオネラ菌を含む微細な水滴を多量に吸引した場合には、レジオネラ症を発症する可能性があるため、作業をする際にはマスクを着用するようにしましょう。



定点 種別	疾患名	状況	34週(8/17～8/23)		35週(8/24～8/30)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	—	25	1.09	21	0.91
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		17	0.74	18	0.78
	急性呼吸器感染症(ARI)		762	33.13	833	36.22
小児科	RSウイルス感染症		3	0.21	11	0.79
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	1	0.07	3	0.21
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	15	1.07	33	2.36
	感染性胃腸炎	—	29	2.07	56	4.00
	水痘(みずぼうそう)	—	1	0.07	1	0.07
	手足口病	—	3	0.21	7	0.50
	伝染性紅斑(りんご病)	—	1	0.07	1	0.07
	突発性発しん		16	1.14	18	1.29
	ヘルパンギーナ	—	5	0.36	6	0.43
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	1	0.20	0	0.00
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		2	0.40	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし